

2010年度 環境活動レポート

(最終版)

(2009年11月～2010年10月)

作成日 2010年12月15日

更新日 2010年12月15日



エコアクション21
認証・登録番号 0001718



有限会社 エドランド工業

環 境 方 針

有限会社 エドランド工業

環 境 方 針

自然環境を常に意識し、継続的な汚染予防・改善に努め、『地球にやさしい物づくり、物にやさしい人づくり』をスローガンとして、全員参加のもと環境マネジメントシステムを継続的に運用し、環境保全・環境負荷低減に努めます。

環境保全への行動指針

1. 次の項目について、環境目標・活動計画を定め、継続的な改善と汚染の防止に努めます。
 - ①二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)
 - ・購入電力、社用車燃料、灯油
 - ②水使用量の削減(水資源の保全)
 - ・地下R及び水道水
 - ③廃棄物の削減及び再資源化の推進(循環型社会への対応)
 - ・可燃ゴミ
 - ・資源ゴミ(金属屑、段ボール他)
 - ・産業廃棄物(汚泥、廃油)
 - ④地域での環境活動への積極的参加
2. 環境関連法規制及び協定を遵守します。
3. 環境への取組を環境活動レポートとして取りまとめ公表します。

本方針は全従業員に周知するとともに、地球環境意識の徹底を図っていく。



制定 2006年 9月18日

改訂 2009年 9月18日

有限会社 エドランド工業

代表取締役社長 久保 公司

1. 事業所の概要

(1) 事業所名、代表社名及び所在地

事業所	有限会社 エドランド工業
代表者	代表取締役社長 久保 公司
所在地	岐阜県関市下有知 3846-1

(2) 管理責任者指名及び担当者連絡先

管理責任者	製造部 次長	猿渡 博美
担当者	本部 営業課長	山田 裕二
連絡先	TEL.	0575-22-0451(代)
	FAX	0575-24-1632
	e-mail	edems@edlund.co.jp

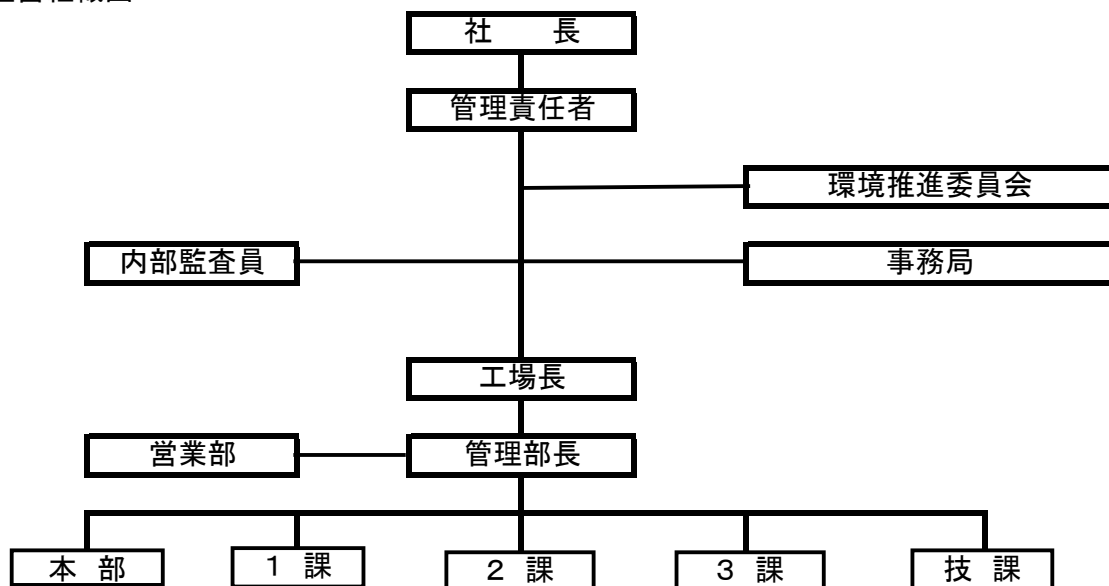
(3) 事業内容及び認証・登録の範囲

事業内容	当社は”刀匠の里”として全国的に知られております関市北西部に位置し、1919年(大正 8年)創業し、創業90年に成ります。 主として、刃物及び金属加工品の設計・製造・販売を行っています。
認証・登録の範囲	刃物、金属加工部品の設計・製造・販売

(4) 事業の規模

項目	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
売上(千円)	533,400	582,136	631,200	360,000	436,000
従業員数	45人	44人	44人	41人	36人
事業所床面積	敷地 2,800坪 建物 820坪				
事業年度	11月~1翌年10月				

(5) 環境経営組織図



※推進委員会メンバー

社長、管理責任者、各部門エコ委員、事務局及び内部監査員で構成する。

2. 環境負荷実績、環境目標及び実績

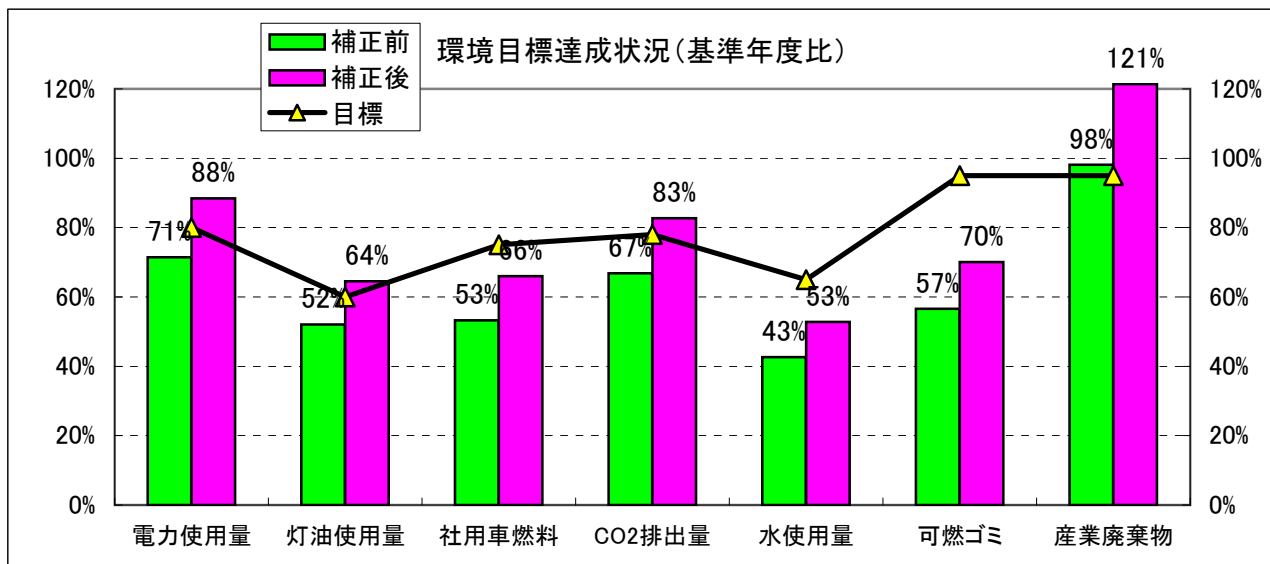
目標未達成

目標見直し

項目	単位	第1期				第2期			2011年	2012年	
		2006年	2007年	2008年	2009年	2010年)					
		基準年度				目標	実績	基準年度比			目標(基準年度比)
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量	GWh	440.3	399.8	381.5	251.7	20%削減	314.6	71%	14%削減	17%削減
				358.5	319.6	392.8		389.4	88%		
灯油使用量(廃油含む)	リットル	14,080	12,138	8,220	7,020	40%削減	7,336	52%	34%削減	36%削減	
			10,885	6,886	10,954		9,079	64%			
社用車燃料	リットル	8,675	7,781	7,641	4,361	25%削減	4,623	53%	30%削減	32%削減	
			6,978	6,401	6,805		5,722	66%			
内訳	ガソリン	リットル	2,206	2,422	2,368		1,172	53%			
				2,172	1,984		1,571	1,450			66%
軽油	リットル	6,469	5,359	5,272	3,354		3,452	53%			
			4,806	4,417	5,234		4,272	66%			
CO2排出量	t-CO2	223.6	201.1	184.2	124.2	22%削減	149.4	67%	25%削減	27%削減	
			180.3	154.3	193.8		184.9	83%			
省資源の推進	資源投入量(鋼材)	kg	95,270	62,231	74,929	49,104	目標設定なし	57,666	61%	目標設定なし	
	水使用量	m3	63,405	47,263	39,284	30,408	35%削減	27,033	43%	38%削減	40%削減
				42,386	32,911	47,448		33,457	53%		
コピー用紙使用量	kg	90.4	109.3	61.0	69.9	目標設定なし	58.8	65%	目標設定なし		
廃棄物の排出抑制	可燃ゴミ(木屑除く)	kg	1,360	1,610	1,550	860	5%削減	770	57%	28%削減	30%削減
			1,444	1,299	1,342	953		70%			
産業廃棄物(汚泥、廃油)	kg	14,515	20,900	16,900	20,402	5%削減	14,240	98%	22%増加	20%増加	
			18,743	14,158	31,835		17,624	121%			
製品生産量	kg	57,519	33,595	37,330	17,470	目標設定なし	31,039	54%	目標設定なし		
製品生産高	万円	53,047	59,151	63,320	33,996	目標設定なし	42,864	81%	目標設定なし		
		補正係数 100	1.115	1.194	0.641		0.808				

(注記) 1. 2007年以降の下段は生産高補正後の値を示す。(使用量/補正係数)

2. 環境目標の達成状況(基準年度比)のグラフを下図に示す。



3. 環境活動の取組計画と活動結果の評価

◎:よくできた ○:できた △:あまりできなかった ×:まったくできなかった

取組計画		達成状況	評価(結果と今後の方向)
電力使用量の削減			目標未達成(生産補正後)
二酸化炭素	①省エネ・省資源ルールの遵守	○	<ul style="list-style-type: none"> ・基準年度に比べ、88GWh削減できたが、生産減が影響したと考えられ、次年度は14%削減に下方修正する。 ・⑥緑化(アサガオ等)は本年度より始めたが、効果を見るため次年度も継続する。 ・⑤、⑧は費用面の課題もあり、次年度も継続して検討する。 ・今後は左記対策だけでは目標達成が難しいので、 ・製造設備・機器の効果的利用等の改善を計画予定。
	②冷房温度28℃設定とクールビズ	○	
	③暖房温度20℃設定とウォームビズ	○	
	④不必要照明の消灯	◎	
	⑤製造設備・機器の節電	○	
	⑥緑化(アサガオ等)によるCO2の削減	△	
	⑦省エネ機器(照明等)への切替	×	
	⑧デマンド監視によるPeak電力の削減	×	
灯油使用量の削減			目標未達成(生産補正後)
排出量	①省エネ・省資源ルールの遵守	○	<ul style="list-style-type: none"> ・基準年度に比べ、約6,700リットル削減できたが、生産減及び削減目標が高かったことが考えられ、次年度は34%削減に下方修正する。 ・H-2棟での灯油使用量(廃油含む)が作業人数に比べ多いため、防寒対策(防寒具着用、隙間風対策)により使用量削減に取り組んでいく。
	②ストーブ使用方法の見直し	○	
	③不要ストーブの削減	○	
	④職場の防寒対策	△	
	⑤廃油(ストーブ)の有効活用	△	
社用車燃料使用量の削減			目標達成(生産補正後)
削減	①運転マナーの励行	○	<ul style="list-style-type: none"> ・基準年度に比べ、4,000リットル削減。生産減の影響もあるが、運転マナーの定着による効果と考える。 ・③新生産管理を導入し、外注への集配の効率化を目指したが、今一步不十分な面があり、次年度も継続する。 ・次年度目標を30%削減に上方修正する。
	②給油量、走行距離の記録	○	
	③効率的な集配業務の実行	△	
水使用量の削減			目標達成(生産補正後)
省資源の推進	①省エネ・省資源ルールの遵守	○	<ul style="list-style-type: none"> ・基準年度に比べ、約36,500m³削減。生産減の影響もあるが①②による節水意識の定着による効果と考える。 ・③緑のカーテン(アサガオ等)の給水として雨水を有効活用したが、次年度も実施予定。
	②池への給水制限	○	
	③雨水の有効活用	△	
可燃ゴミの排出削減(伐採木屑除く)			目標達成(生産補正後)
廃棄物の抑制	①可燃ゴミ分別収集ルールの遵守	○	<ul style="list-style-type: none"> ・基準年度に比べ、590kg削減。生産減の影響もあるが、①の分別、排出ルールの定着による効果もあったと考える。 ・②段ボールのリサイクルは、106kg ・③木屑リサイクル業者の廃業により、可燃ゴミとして処分。 ・次年度目標を28%削減に上方修正する。
	②リサイクルの促進(段ボール他資源ゴミ)	○	
	③木屑のリサイクル	×	
	④私用品のゴミの持込み禁止	○	
	⑤両面、裏面コピーの推進	○	
産業廃棄物の排出削減(汚泥、廃油)			目標未達成(生産補正後)
抑制	①汚泥、廃油の排出量調査	○	<ul style="list-style-type: none"> ・基準年度に比べ、約300kg減少したが、排出抑制の具体策が見当たらず、2007年以降目標未達成が続いたので、次年度は22%増加に下方修正する。 ・③水分の絞れたスラッジを袋に入れ別の場所に保管(排出量500kg)、改善効果を検証できなかったため次年度も継続する。
	②産廃業者引取量の確認	○	
	③汚泥の軽量化の検討	△	

取組計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
グリーン購入		
①グリーン購入リストの作成	○	「省エネ・省資源手順書」(改訂3版)にグリーン購入品リストを追加し、2011年度より必要に応じて購入予定
②リストによる購入	×	
社会貢献		
①会社周辺の清掃作業	○	1回/年実施 次年度は、3ヶ月毎に実施予定
		 

4. 環境関連法規等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規は、次のとおりです。

適用される法規	適用される事項(施設、物質、事業活動等)	遵守評価
水質汚濁防止法	貯油場、廃油置場、貯水池	油流出事故なく 違反なし
廃棄物処理法	一般廃棄物(可燃ゴミ他) 産業廃棄物(汚泥、廃油、不燃ゴミ)	違反なし (マニフェストを保管)
騒音・振動防止法	空気圧縮機、機械プレス	知事に届出済
PCB特措法	油入変圧器、高圧コンデンサ	知事に届出済
消防法	火災報知機	消防署に届出済
遵守状況	環境関連法規等の遵守状況を評価した結果、環境関連法規への違反及び訴訟は、過去3年間ありませんでした。	

5. 代表者による全体の評価と見直し

項目	代表者による見直し	
	変更の必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
環境方針	2009年9月18日付 環境方針を継続する。	
環境目標・活動計画	変更の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	(1)環境目標(目標値の見直し)	
	①電力使用量の削減	目標値 23%→14%削減に変更
	②灯油使用量の削減	目標値 43%→34%削減に変更
	③社用車燃料使用量の削減	目標値 25%→30%削減に変更
	④二酸化炭素排出量の削減	目標値 22%→18%削減に変更
	⑤可燃ゴミの排出削減	目標値 8%→28%削減に変更
	⑥産業廃棄物の排出削減	目標値 8%削減→22%増加に変更
	(2)システムの簡素化をはかるため、「環境マニュアル」での運用を中断しエコアクション21要求事項に適合した手順書・記録の見直しを行う。	
その他指示事項	(1)「環境への取組の自己チェック」改善例を参考にして、目標達成に努めること。 (2)地域社会への貢献具体策を検討し報告すること。(管理責任者担当)	

5. その他環境活動の紹介

取組計画		責任部門	達成状況	評価(活動結果と今後の取組み)	
環境意識の高揚	①「教育訓練計画」に従い、教育訓練実施する。	全部門	○	「教育訓練計画表」で決めた教育・訓練はほぼ計画とおり実行できた。	
	②環境改善の事例発表会を行う 11月(発表者含め全員参加)	事務局	○	前年度活動結果の発表会を10/25に開催した。(写真紹介) 活動性及び反省点について次年度活動計画に反映させる事とした。	写真 
結果確認	環境推進委員会で改善状況・結果を確認し、適切な処置を行なう。	推進委員会メンバー	○	毎月1回、環境推進委員会を開催し次の事項を確認している。 ①環境目標達成状況、活動結果 ②改善課題の検討及びそのフィードバック	
品質・生産性に関する改善活動	大抜不良の削減(対象製品) 目標値:不良率 1.2%以下	1課	○	・対象製品[4品]について、不良率が1.47%→0.73%に改善され効果が見られたので、このテーマの活動は今回で終了する。	
	検査不良の削減 目標値:不良率1.2%以下	2課	○	・検査での不良率が1.76%→0.36%に改善されたが前工程で突発的に不良が多発するケースがあり、不良が出た場合には後回しせず、その都度原因追求及び対策を実施することとした。(次年度も継続)	
	不良の削減 目標値:不良率0.7%以下	3課	○	・対象製品[6品]について、不良率が1.10%→0.46%に改善されたが、Q2関係で研磨不良が多く発生したため次年度も継続して改善を行う。	
	製作図面の整理 目標値:100件/月(登録件数3,300)	技課	△	・本年度図面の整理は、1,043件(付平均87件)と目標を達成できなかったが、全体の約50%完了した。次年度も継続して図面整理を行う。	
	品質管理(検査表の作成) 目標値:53件(年)	本部	○	・検査表の作成は、53件作成し計画通り実行できた。なお、対象製品について不良品の外部流出(クレーム)がなく、効果があったので、このテーマの活動は今回で終了する。	
緊急時の対応テスト	避難訓練(全員対象)	事務局	○	8/20実施 手順取り実行できた	避難訓練の状況写真紹介 写真 
	油流出時の対応訓練(エコ委員及び関係者)	事務局	○	3/1実施 手順取り実行できた	
	トラックへの荷積み作業訓練(本部関係者)	本部	○	5/1実施 手順取り実行できた	

6. 2011年度活動計画

環境目標	目標値	担当	主な活動計画・取組
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	2006年比 14%削減	全部門 (1)省エネ・省資源ルールに従って節電に努める。 ①空調機器の温度管理(設定温度) ②不必要照明の消灯 ③設備・機器の節電(空運転等の禁止) (2)省エネ機器への切替(照明他) (3)緑化(アサガオ他)による (4)デマンド監視によるPeak電力の削減 (5)製造設備・機器の適正管理(節電対策)
	灯油使用量の削減	2006年比 34%削減	1 課 2 課 3 課 (1)省エネ・省資源ルールに従って節約に努める。 ①火力の調整他 ②指定場所以外は原則使用禁止 (2)職場の防寒対策
	社用車燃料使用量の削減 (ガソリン、軽油)	2006年比 30%削減	本 部 (1)運転マナーの励行、燃料節約に努める。 (2)効率的な集配業務の実効 (集配計画の立案と実行)
省資源	水使用量の削減 (地下水、上水)	2006年比 38%削減	全部門 推進 メンバー (1)省エネ・省資源ルールに従って節水に努める。 (2)雨水の有効活用
廃棄物の排出抑制	可燃ゴミの排出削減	2006年比 28%削減	全部門 (1)分別収集、排出抑制に努める。 (2)リサイクルの推進 (段ボール他)
	産業廃棄物の排出削減	2006年比 22%増加	2 課 3 課 推進 メンバー 全部門 (1)廃棄物(汚泥、廃油)排出量の調査 (2)汚泥軽量化、保管方法の検討 (3)粗大ゴミ、廃プラ保管方法、場所の検討 (4)金属屑の分別収集と異物投棄の禁止
グリーン購入	設定無	本 部	(1)グリーン購入リストによる購入と実績把握
社会貢献	設定無	管理 責任者 事務局	